



高校生が卒業証書を得るまでに保護者や他の家族ができること！

- 卒業を優先する。
- お子様の出席状況に注意する。毎日、遅刻せず、学校にいるよう促してください。
- 誰と親しくしているかを知っておく。たいていお子様は、友達の行動をまねるからです。
- 成績に注意しておく。卒業へと順調に進んでいることを確認してください。
- 保護者面談に出席する。お子様の目標や見込みについて話してください。
- お子様将来を考えるサポートをする。必要な教育やトレーニングについて理解してください。
- お子様に自分から話すように教える。自分で選択や決定をさせてあげてください。
- 学校の行事やボランティア活動に参加する。学校で何が起きているかが分かります。
- お子様クラブに入ったりスポーツをしたりすることを勧める。学校にいたいと思う可能性が高くなります。
- 個人指導や特別な学習支援を求める。難しい授業を修了するのに役立ちます。
- いじめ、学習障害、または健康上の問題のサインがないか注意する。これらは、お子様の成績不良や学校嫌いの理由である可能性があります。
- 必要に応じて学校外の情報源やサポートを見つけ出す。
- オンラインの情報源を探す。具体的な問題や疑問に対応できます。
- お子様に個別教育プログラム (Individualized Education Program (IEP))が作成されている場合、お子様がIEPチームの一員であり、移行プランに関与しているか確認してください。
- お子様のIEPの目標が、高校卒業資格に沿っていることを確認してください。目標は、学業に重点を置くこと、および必要な科目を受講しそれに合格するために必要なサポートや便宜を含むことが必要です。
- 成功するために必要な便宜が利用でき、実際に利用していることを確認する。
- IEPが作成されている生徒は、より長く高校にとどまり、特別なサポートを受けることができます。正規の高校卒業証書を得て卒業するために必要な科目を修了するためです。

詳しい情報は、以下までお問い合わせください：

ペアレント・ツー・ペアレント・オブ・ジョージア(Parent to Parent of Georgia) 770-451-5484または800-229-2038あるいは
www.p2pga.org

ジョージア州教育省特殊教育サービス支援局(Georgia Department of Education, Division for Special Education Services and Supports)

404-656-3963または800-311-3627に電話をかけ、特殊教育(Special Education)につなぐよう伝えてください

<http://www.gadoe.org/Curriculum-Instruction-and-Assessment/Special-Education-Services/Pages/default.aspx>

卒業資格

<http://www.gadoe.org/External-Affairs-and-Policy/State-Board-of-Education/SBOE%20Rules/160-4-2-.48.pdf>

キャリア教育、技術教育、および農業教育

<http://www.gadoe.org/curriculum-instruction-and-assessment/ctae/pages/default.aspx>

その他の情報源：学区の特殊教育ディレクター(Special Education Director)にご相談ください。

出典：

国立中等教育・移行センター(National Center on Secondary Education and Transition (NCSET))

ペイサーセンター(PACER Center)

合衆国教育省(US Department of Education) (Ed.gov)